

こそだて通信

2013年4月号

==春を迎えて==

ご入園、ご進級おめでとうございます。これから保育園での新しい生活が始まりますね。朝のお子さんのご様子はいかがですか？

おそろおそろお部屋に入るお子さん、泣いてお母さんから離れようとならないお子さんもいらっしゃることでしょう。泣き声に後ろ髪ひかれますよね。

笑顔で楽しく保育園に通ってほしいと親なら誰しも願うでしょうが、初めて出会う大人やお友達に心を開けるようになるまで、泣いたり、表情が硬かったり、大丈夫かと思っていたのに今日は行きたくないと言ったりするのは、子どもの心の発達からすれば当然の姿です。

では、少しでも早く笑顔の朝を迎えるためにはどうしたらいいのでしょうか。

お子さんが不安な様子だと、お父さんお母さんも心配がつい顔に出してしまうものですが、子どもというのは親の表情や感情にとっても敏感です。人見知りの始まった赤ちゃんは、抱っこしているお母さんが目の前にいる人と楽しそうに話しているかどうかをちゃんと見ていて、「この人は大丈夫な人なんだ」と感じると泣きやむといいます。親の様子を参考にしながら外の世界に用心深く身を置く姿は、生きていくうえでの知恵を生まれながらに持っているようで本当に感心させられます。どうぞ無理をしてでも、保育園の送り迎えの瞬間は笑顔を見せて、お子さんを安心させてあげてください。

そして、朝の別れは長引かせずスッキリと。お子さんとの両手タッチや、わらべ歌などの朝の儀式が終わったら、後はお子さんの成長する力を信じて、笑顔でお仕事に行かれてくださいね。

(臨床心理士 藤井あづさ)